

## Macintosh OS X

Macintosh OS X は、JIS X 0213:2000 の符号化方式のひとつ Shift\_JISX0213 に対応しています。

OS X Leopard は JIS X 0213:2004 対応のフォントを搭載しました。また、付属のテキストエディタや、ウェブブラウザ Safari において、符号化方式 Shift\_JIS-2004 に対応しています。つまり、Shift\_JISX0213 に加え、「表外漢字 UCS 互換」10 文字にも対応しています。

### コメント

- ・メーリングリストにも書きましたが、テストページを作ってくださいれば、テストすることは可能です。MacOS X ver10.4.11 でダウンロードされる Safari ver.3.0.4 を用いると、表示テキストエンコーディング 日本語 (ShiftJIS X0213) というエンコーディングが機能するようになりました。Unicode3.2 に対応しているフォントで表示されます。MacOS X ver10.3 以前でダウンロードできる Safari ver.1.1 では、Safari 環境設定 テキストエンコーディング 日本語 (ShiftJIS X0213) というエンコーディングが選択できましたが、機能してませんでした。OS X Leopard になっても状況は同じで、日本語 (Shift JISX0213) というエンコーディングが機能するようになっています。 - kumanesir (2008 年 02 月 10 日 00 時 50 分 02 秒)
- ・JIS2004 の「表外漢字 UCS 互換」10 文字 (およびその面区点番号) は、残念ながら符号化方式 Shift\_JIS-2004 に対応していないようです。しかし、他の部分はほとんど対応していると思います。私の場合は、合成文字でアイヌ語の「小さなブ」はちょっと不満ですね。半濁点が少し離れていると思います。しかし、エクセルやワードの離れ具合よりはましでしょうね。あれは使いものになりません。メイリオを使っても同じです。Office 2008 for Mac の場合ですが、Office 2007 for Vista でも結果は同じです。合成文字は問題ないということでユニコードで採用になりましたが、アイヌ語の「小さなブ」はよく使いますからね。しかし、Vista のメモ帳や Leopard のテキストエディタでは、きれいなアイヌ語の合成文字「小さなブ」ができます。これには満足します。ブラウザ、アプリケーションもこれに準拠してほしいものです。 - kumanesir (2008 年 02 月 12 日 02 時 12 分 32 秒)
- ・Leopard Intel Safari3.0.4 では、JIS2004 の「表外漢字 UCS 互換」10 文字 (およびその面区点番号) が表示します。Tiger PPC Safari3.0.4 の場合と違います。改善されたようです。 - kumanesir (2008 年 02 月 12 日 11 時 38 分 03 秒)
- ・いただいたコメントを元に、本文を修正してみました。 - やの (2008 年 02 月 16 日 16 時 01 分 05 秒)